2021年度活動報告書

ANNUAL REPORT

認定NPO法人STORIA

2021年10月1日~2022年9月30日



Ol STORIAのおもい

()2 2021年度の事業報告

()3 STORIAを支えてくださった方々

()4 2021年度の会計報告

05 さいごに



STORIAのおもい

STORIAは、2016年に『「貧困の連鎖」から「愛情の循環」へ』という ビジョンを掲げ、経済的・精神的な困難を抱える家庭と子どもたちのサポート を始めました。

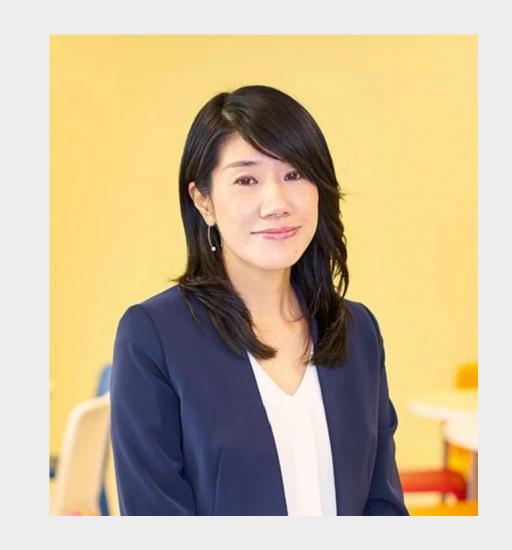
2021年は、長引く新型コロナウィルスや物価高により、困難を抱えるご家庭やその子どもたちが更なる困難を強いられる事態となりましたが、STORIAは一人でも多くの親御さんと子どもたちを支えるために、今必要な事業をスピードを持って展開して参りました。

その結果、約1,000世帯のひとり親家庭とその子どもたちに出会い、 お一人おひとりに耳を傾けながら必要な支援を届けることができました。

そのようなことができたのも、STORIAを支えてくださるサポーターさん、 プロボノさん、ボランティアさん、各分野の専門家の方々、アドバイザー、ス タッフ、理事などの多くの方々の力が結集したからだと思っております。

私たちは、『愛情が循環する未来』を多くの方々と共に築いていくために、 創造的で変化し続ける団体として今後も尽力して参ります。

2021年度もたくさんの方にSTORIAを支えていただきましたこと、 心より感謝申し上げます。



認定NPO法人STORIA 代表理事 佐々木綾子





project

STORIAでは、ひとり親や様々な困難を 抱える親御さんとその子どもたちを包摂 するための事業として、3つの枠組みで 事業を行いました。

「ひとりに寄り添う」 「ノウハウを広げる」 「社会に理解と変化を」

今後も当事者の想いや必要をお聴きしな がら、また、社会に理解と変化を起こせ る事業を創り続けていきます。





ひとり親等家庭の相談支援事業

令和3年度のモデル事業「孤立する家庭を防ぐためのアウトリーチ型相談支援事業」によって多くのご家庭と繋がることができました。また、令和4年度からは、仙台市の施策事業として、仙台市全区(5区)にて展開することができました。

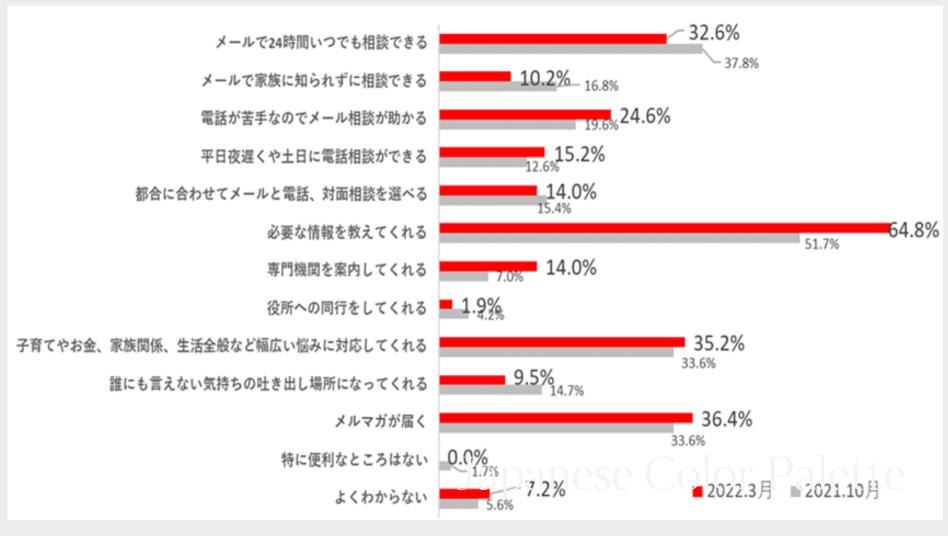
今後も、積極的に孤立する家庭と繋がり、 関係性を深めながらお一人おひとりの悩み に寄り添う事業を広げていきます。





相談支援事業アンケート結果

メール相談や24時間の相談は大きなニーズがありました。また、定期的にひとり親等が必要な情報(制度・教育費・子育て等)をメールマガジンにてお届けすることで、情報を得ることができたり、何か困った時に頼れる相談先として認知してもらうことができました。



アンケート実施(2021.10月:N=139 2022.3月:N=264)

STORIA

2021年度実績

子どものサードプレイス事業

子どもの「生きる力(自己肯定感などの非認知能力)」を育 むため、また親御さんの相談支援を行うサードプレイスを、 地域と協働しながら仙台市内にて2拠点開設しました。

















保護者の悩みや課題を連携機関と一緒に解決する支援













子どもたちの土台となる自己肯定感と生きる力を育む支援









228 開催

1,296 子ども 支援(延べ)

345 ジュニアボ ランティア

616 ボラン ティア

食育

*ジュニアボランティアとは、居場所を卒業した中高生のボランティアのことです。 *人数はすべて延べ数で表記しています。





季節の料理を一緒に食 事を作たり、ボラン 大切な食育の時間。

まなび







子どもが自ら宿題の時 間を決めて行います。 勉強を強制されない、 学びが楽しい!と思え るような時間。



子どものサードプレイス事業

非認知能力向上プログラム

育む活動を行っています。非認知能力とは、自己肯定感や協働する力、創造力、やり抜く力等のことを言い、「愛情」と「多様な価値観と体験」によって育まれると言われています。また、非認知能力は、子どものIQ・職業選択・ウェルビーイング、幸福感へ大きな影響を及ぼすということが世界的研究からもわかっています。STORIAでは子どもたち自ら企画運営をし

子どもが自分や他者を愛し、自分らしい人生を歩んでいくためにSTORIAでは、非認知能力を

Artの世界





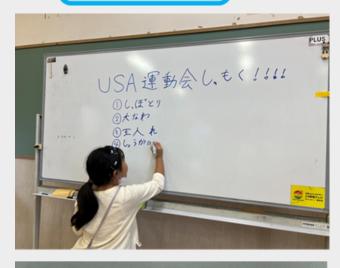


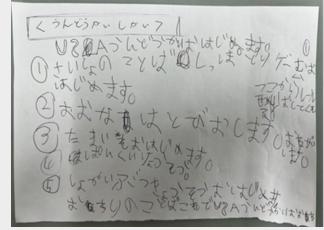




自分たちで企画 する運動会

年12回のプログラムを実施しています。





BBQの火起こし





楽器で作曲









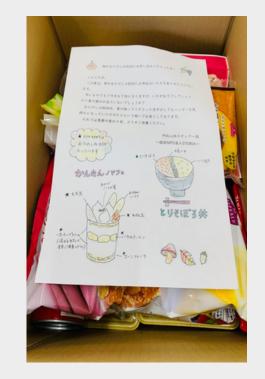
緊急食料支援事業

<支援世帯数・金額>



「明日の食べる物がありません。」等のご相談がひとり 親や困難を抱えるご家庭から多数寄せられています。食 糧支援を通して、ご家庭や子どもたちを孤立・孤独な想 いにさせず、「ひとりじゃないよ」という想いを届けて います。





支援児童等見守り強化支援事業







食品を直接ご自宅にお届けしながら、子どもとその親御さんを見守る事業を 仙台市から委託を受けて行っています。

子どもたちへの移動図書館の開設

様々な事情により家から出れなくても、子どもたちの世界を広げられるように と移動図書館を開始しました。ご支援者様からのご寄附で開設できました。











企業研修事業

子どもの貧困やSDGs、新入社員や幹部候補 研修、企業様のアセットによる新規事業開発 における研修事業を行いました。



他団体ノウハウ研修事業

STORIAが培ってきた事業のノウハウを、全 国の他団体へノウハウを共有する事業を実施 しました。



【研修概要】 2時間×6回 ・オンライン形式

- 1.貧困問題の理解と困難家庭の保護者が抱える困難さへの向き合い方
- 2.アウトリーチの必要性とアウトリーチ実践方法
- 3.公民連携・地域連携をするための自治体およびNPO等との関わり方
- 4.受容・共感をベースにした「相談支援」の実践方法
- 5.困難家庭やステークホルダーとの関係性を大切にする組織作り
- 6.活動の評価と振返りと改善

啓発事業

子どもの貧困やひとり親の現状、非認知能力等の勉強会を毎月開催し、社会への理解を広げる啓発事業を実施しました。















STORIAを支えてくださった方々

organization

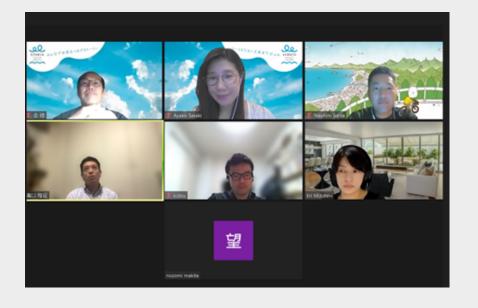
スタッフ11名、ボードメンバ―3名、プロボノ44名、ボランティア189名、サポーター345名、アドバイザー5名によって、階層組織ではなく尊重し合う関係性により事業やプロジェクトが生まれ、運営されています。



fundraising team



organization team



volunteer team



supporter team



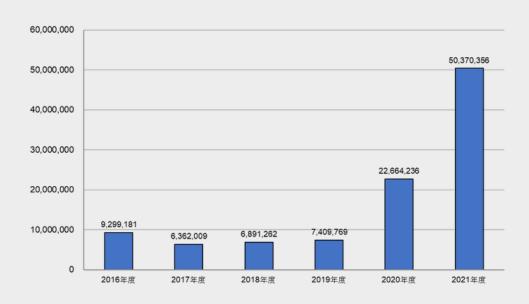
STORIA SUPPORTERS グループ



会計報告

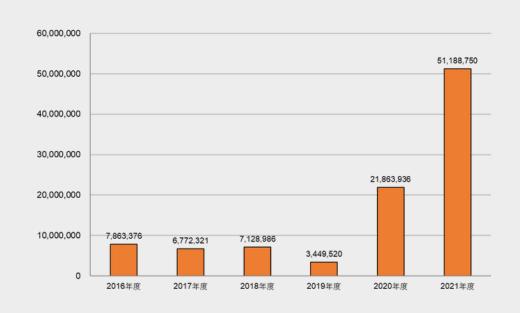
経常収益

2020年度から2021年度にかけて、委託事業・助成金の 獲得により倍増となりました。



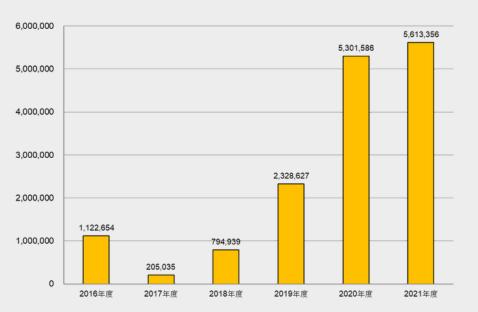
経常費用

事務所の移転等により管理費が膨らみマイナスとなりました。



寄附

2020年度から微増となりましたが、毎月の継続寄付者が増え、安定感が増しました。



収益構造

委託事業により事業収益が増えました。助成金比率は目標値通りで、今後はご寄付による収益の安定性を目指していきます。



■受取寄付金 ■事業収益 ■受取助成金等 ■受取会費 ■その他収益

5 さいごに

私たちSTORIAがこれまで行ってきたサードプレイスや移動図書館ひとり親家庭への相談支援や食糧サポートなどは、 多くの方々からのお力添えがあって運営ができております。

ご支援・応援くださった皆さまお一人おひとりに心から感謝申し上げます。

私たちは、経済的・精神的な困難を抱えた親御さんや子どもたちと日々出会っています。 その方々はこれまでご自身が育った環境などにより、心に大きな傷つきや痛み、悲しみを抱えています。 そのような痛みが原因で、誰かに頼ったり、つらいという言葉を言うことさえできず、さらに孤独な人生を選らばざるを 得ない状況になっています。

私たちは、STORIAのサードプレイスや相談支援を通して、困難を抱える親御さんや子どもたちに愛をお伝えしたいと思っております。ありのままの存在を受け入れられ、心が通ったつながりは孤独を打ち消します。

愛された経験によって、そして大切にされた経験によって、自分や他者を大切にすることができるからです。

本来ひとり一人に与えられている素晴らしい人生の物語を子どもたちや親御さんが描けるようになるために、

ご支援くださる皆さまの愛とともに、今後も子どもたちや親御さんに届けて参ります。

2022年度も引き続き、お力添えいただけましたら幸いです。

認定NPO法人STORIA 代表理事 佐々木綾子

